

# CHAPTER 8: 'KGRAF'に準拠した関数

## 8.1 GSCHH

(1) 機能

文字の高さを設定する(KGRAF準拠)

(2) 呼び出し形式

CALL GSCHH(WC)

WC : [REAL\*4] 文字の高さを指定

## 8.2 GSCHSP

(1) 機能

文字間隔を設定する(KGRAF準拠)

(2) 呼び出し形式

CALL GSCHSP(SP)

SP : [REAL\*4] 文字の高さに対する比率で設定

(3) その他

・ このサブルーチンをコールしなければ、SP=0.0 になっている

## 8.3 GSCHUP

(1) 機能

文字の上方向ベクトルを設定する(KGRAF準拠)

(2) 呼び出し形式

CALL GSCHUP(VX,VY)

(VX,VY) : [REAL\*4] 文字の上方向ベクトルを指定

## 8.4 GSCHXP

(1) 機能

文字幅拡大率を設定する(KGRAF準拠)

(2) 呼び出し形式

CALL GSCHXP(WC)

WC : [REAL\*4] 文字幅拡大率を指定 (標準1.0)

## 8.5 GSLN

(1) 機能

線の種類を設定する(KGRAF準拠)

(2) 呼び出し形式

CALL GSLN(IN)

IN : [INTEGER\*4] 線の種類を指定

( 1:実線 2:点線 3:破線 4:一点鎖線

21:短一点鎖線 22:二点鎖線 23:短破線 24:短点線 )

## 8.6 GSLWSC

(1) 機能

線幅拡大率を設定する(KGRAF準拠)

(2) 呼び出し形式

CALL GSLWSC(WP)

WP : [REAL\*4] 線幅拡大率を指定 (0.0 - 99.0)

値が小さいほど細い線

PENX(NP)のNP[ 6桁のINTEGER\*4]の中 2桁と

INT(WP)が対応する

(3) その他

- ・ このサブルーチンをコールしなければ、  
WP=0.0 (プリンタの最小の太さ) になっている

## 8.7 GSPLCI

(1) 機能

線の色を設定する(KGRAF準拠)

(2) 呼び出し形式

CALL GSPLCI(IN)

IN : [INTEGER\*4] 線のカラーインデックスを指定

(0:白 1:赤 2:緑 3:青 4:黄 5:紫 6:シアン 7:黒)

(3) その他

- ・ このサブルーチンをコールしなければ、IN=7 (黒) になっている  
ただし、PENX, NEWPEN, GSTXCIがコールされれば変更される

## 8.8 GSTXCI

(1) 機能

文字の色を設定する(KGRAF準拠)

(2) 呼び出し形式

CALL GSTXCI(IN)

IN : [INTEGER\*4] 文字の色を指定

(0:白 1:赤 2:緑 3:青 4:黄 5:紫 6:シアン 7:黒)

(3) その他

- ・ このサブルーチンをコールしなければ、IN=7 (黒) になっている  
ただし、PENX, NEWPEN, GSPLCIがコールされれば変更される

## 8.9 GSTXFP

(1) 機能

文字のフォントを設定する(KGRAF準拠)

(2) 呼び出し形式

CALL GSTXFP(NFNT, NP)

NFNT : [INTEGER\*4]

=5: Courier

=7: Helvetica

=8: Helvetica Narrow

=9: Symbol

その他: Times-Roman

+10: 太字(Symbolを除く)

+20: 斜字(Symbolを除く)

+100: 白抜き文字

NP : [INTEGER\*4] DUMMY

(3) その他

- ・ このサブルーチンをコールしなければ、NFNT=0 になっている

## 8.10 GTXS

(1) 機能

文字を描く(KGRAF準拠)

(2) 呼び出し形式

CALL GTXS(X,Y,N,C)

(X,Y) : [REAL\*4] 文字を書き出す左下の位置

=(999.0,999.0)->カレントポイントを変えない

=(-999.0,999.0)->カレントポイントを変えず上付文字を書く

=(999.0,-999.0)->カレントポイントを変えず下付文字を書く

N : [INTEGER\*4] 文字列の長さ

C : [CHARACTER] 文字列

N<0の場合

C : [INTEGER\*4] (0-15)でセンターシンボルの種類を指定

N=-1 : (X,Y)までペンを上げて移動

-2 : (X,Y)までペンを下げて移動

(3) その他

- ・ 英字フォントはSETFNTまたはGSTXFPで設定する
- ・ 漢字、かな文字フォントはSETKFNTで設定する
- ・ 漢字、かな文字についての注意事項はSYMBOLを参照すること
- ・ 文字の色はPENX, NEWPEN, GSTXCL等で指定したものとなる

## 8.11 KARCS

(1) 機能

中心、半径および方位角で指定される円弧を描く(KGRAF準拠)

(2) 呼び出し形式

CALL KARCS(X,Y,R,ANGS,ANGE)

(X,Y) : [REAL\*4] 中心のx,y座標

R : [REAL\*4] 半径

ANGS : [REAL\*4] 円弧の開始角(deg)

ANGE : [REAL\*4] 円弧の終了角(deg)

(3) その他

- ・ 線種はLINSEL, GSLN, GSLWSC, GSPLCI, NEWPEN, PENX等で指定する

## 8.12 KCRCL

(1) 機能

中心、半径で指定される円を描く(KGRAF準拠)

(2) 呼び出し形式

CALL KCRCL(X,Y,R)

(X,Y) : [REAL\*4] 中心のx,y座標

R : [REAL\*4] 半径

(3) その他

- ・ 線種はLINSEL, GSLN, GSLWSC, GSPLCI, NEWPEN, PENX等で指定する

## 8.13 KSCTR

(1) 機能

中心、半径および方位角で指定される扇形を塗りつぶす(KGRAF準拠)

(2) 呼び出し形式

CALL KSCTR(X,Y,R,ANGS,ANGE)

(X,Y) : [REAL\*4] 中心のx,y座標

R : [REAL\*4] 半径

ANGS : [REAL\*4] 円弧の開始角(deg)

ANGE : [REAL\*4] 円弧の終了角(deg)

(3) その他

- ・ 縁の線属性は PENX, NEWPEN, LINSEL, GFPLCI等で設定する
  - ・ 環境設定には次のサブルーチンを使用する
    - GSFACI : フィルエリアカラーインデックスの設定
    - GSFAIS : フィルエリアインテリアスタイルの設定
    - GSFASI : フィルエリアスタイルインデックスの設定
    - SETHAC : 網掛けの背景色、重ね書き、線幅の設定
- なお、設定された環境は、環境設定サブルーチンにより

再度定義され直すまで有効である